

今が播種適期の暖地型芝草

- ・種子で造成が可能な暖地型芝草
- ・播種時期；《温暖地》5月上～7月中旬 《暖地》4月中～7月下旬

センチピードグラス

センチピードグラス/Centipedegrass

- ・ノシバよりも発芽・初期生育が早く、つくりやすい。
- ・ノシバに似た、葉幅の広い丈夫な芝地をつくり、地上ほふく茎の伸長が早く、密な芝地となるので、雑草の侵入が少ない。
- ・耐暑性、耐病性が強く、虫害も少ないので、維持管理が容易。耐寒性は強くないが、北関東でも十分越冬できる。
- ・暖地のゴルフ場のフェアウェイ、ラフ、公園、法面緑化等に好適。
- ・播種量 10～15 g/m²



ノシバ

センチピードグラス

播種後 1か月目の状態

CHEYENNE シャイアン

(コーティング種子)

ドワーフタイプバミューダグラス/Dwarf-type bermudagrass

- ・耐寒性が強いため、春の萌芽が早く、冬枯れも遅い（緑度保持期間が長い）。
- ・種子でターフの造成ができるので、ローコスト。
- ・日本芝より速やかにターフを造成できる。
- ・コモン、U-3に比べ、矮性で刈取り労力が軽減できる。
- ・時間が短いため、密度の高いターフを形成する。
- ・病害虫抵抗性に優れる。
- ・日本芝よりも干ばつに強く、また、長期間の滞水にも耐える。
- ・地上及び地下ほふく茎により、踏圧やすり切れによる被害から素早く回復する。
- ・播種量 10～15 g/m²



秋まきに適する寒地型芝草

- ・播種時期；《寒冷地》秋播種；8月中～下旬 《温暖地》秋播種；9月中～10月中旬
春播種；5月上～7月上旬 春播種；3月下旬～6月中旬

・主な寒地型芝草の種類と特性

- ケンタッキーブルーグラス：地下茎で速やかに拡がり、品質のよい芝生を形成する。主体草種。
トールフェスク：耐暑性・耐干性が強く、不良土壤環境にも適応するが、芝質はやや粗い。
ペレニアルライグラス：発芽、初期生育が早く、芝生形成は早い。草質は柔らかい。
ファインフェスク：トールフェスクと同様に不良土壤環境にも適応する。葉は極めて細い。

《混播例：一般家庭、緑地帯 等》() 内は品種名

[寒冷地]	播種量；20～30 g/m ²	混播割合
	ケンタッキーブルーグラス (ジュリア, リムジン, バーティティア等)	60 %
	ファインフェスク (バーフラウン, ロングフェロー)	30 %
	ペレニアルライグラス (アドベント, APM)	10 %
[温暖地]	播種量；40～50 g/m ²	
	トールフェスク (スノートF, ピクシー)	50 %
	ケンタッキーブルーグラス (スノーケBII, ジュリア, リムジン, バーティティア等)	40 %
	ペレニアルライグラス (アドベント, APM)	10 %